

難病の現状を解説

サポートセンター 患者らに講演



間脳下垂体疾患について、症状の特性や治療法を解説する山北宜由松波総合病院長＝大垣市加賀野、ソフトピアジャパン

い薬物治療なども紹介した。

講演後は、患者らが就労への不安などを話し合い、交流を深めた。

同センターは、毎月専門医による電話相談を開催。27日は特発性間質性肺炎、慢性気管支炎など呼吸器の病気について受け付ける。予約が必要。申し込み、問い合わせは同センター、電話058(214)8733。(佐名妙予)

難病生きがいサポートセンター(松田之利理事長が主催する「難病ふれあい教室」が25日、大垣市加賀野のソフトピアジャパンで行われ、「間脳下垂体疾患」についての講演と患者らの交流会が開かれた。

教室は年5回開かれ、今回は患者と家族や医療関係者約40人が参加した。間脳下垂体疾患は、病状で七つに分けられるホルモンの病気。一部が今年から名称変更をしたこともあり、より理解を深めてもらおうと取り上げた。